



# ぼっかぼか

函南病院新豊部



## リレー・フォー・ライフin高知2011に参加して

函南病院でチームとしてこのイベントに参加をし、今年で3年目となる。各部署のスタッフの協力で、既に様々な思いが蓄積されている。

そもそもリレー・フォー・ライフって何?と思われる方も多いはず。

リレー・フォー・ライフとは、1985年にアメリカ・ワシントン州シアトル郊外で、アメリカ対がん協会のゴルディー・クラット医師が始めたイベントである。

医療従事者、患者やその家族、友人が数名ずつチームを組み、リレー形式で24時間櫛を繋ぎ、歩き続けるのである。単なる寄付集めのイベントではなく、地域社会全体でがんを闘う為の連帯感を育む場としてリレー・フォー・ライフは大きく広がり、現在全米4000ヶ所以上、世界20ヶ国以上で行われている。

開催方法は様々で、共通するプログラムはがんと闘う人達の勇気を称え、がん患者やがんを克服した人達が歩く『サバイバーズ・ラップ』、がんで亡くなった人達を偲び、ひとりひとりの名前を記した紙袋の中にキャンドルを灯して並べることである。

高知市では今年で4回目の開催である。平成23年10月8日、9日の両日で函南病院では延べ30名、全体では延べ2000名、37チームの参

加があり、がんと闘い続ける患者さんやご家族にとっては大きな励みになったと聞いた。

一昨年は震えながら極寒の夜を過ごし、昨年はこれでもかという位の豪雨と雷で、浸水したテントエリアに靴や荷物がぷかぷか浮かぶ中、ずぶぬれで黙々と歩き続けたことも今では懐かしい思い出話。



そして今年はお天気に恵まれた。日中は『暑い』と言いつつも、それだけが色々な思いで黙々と、また時には院内、院外の仲間と語らいながら歩いたことだった。

夜明けに浮かんだルミナリエの美しい光を見つめ、それぞれのメッセージを読みながら、がんと闘い抜いた方の笑顔を心に浮かべ、現在がんと闘い続けているサバイバーの方へ心よりエールを送った。

そして『HOPE(希望)』と浮かび上がったグラウンドセンターに並んだ文字に、今、自分達にできることは何なのか...を考え、一歩一歩前へ進んでいこうと誓った。

しかし運動不足か年齢のせいかわ、翌日は両方の股関節痛でかっくんと不安定な歩行になり、若干心が沈んだ。

難しいことを考える前に、日頃から少し運動をしよう...と気持ちの多い有意義なイベントとなった。

緩和ケア病棟  
西村 勇子

■病院理念

1. 私たちは地域にとってよりよい医療・介護を目指し努力を続けます。
2. 患者様に信頼される技術と暖かいホスピタリティを提供できることが私たちの目標です。
3. 私たちは医療人として楽しく働ける職場作りを目指します。

■病院基本方針

1. 我々は病気 (Common Disease) を安全・快適に治療することを目標としています。
2. 我々は当院の専門分野での高い医療レベルを維持することに努めます。
3. 我々は地域の他の医療機関・施設との連携を大切にします。
4. 我々は個人の尊重を重んじ、人生の終末期に対して入院および在宅医療・介護を通じて取り組みます。

## 部署別紹介

## 事務部

## 経理の仕事

松岡

仕事紹介の前にみなさん経理部の場所はどこかご存知ですか? 1階事務部の奥の部屋・・・「入社した時に入ったことがあるけど、覚えてない」・「挨拶して入ったらむずかしい顔をした男性が返事もしないでパソコンの画面を食い入るように見ている」など薄暗くてとちょっと入りづらい印象しかないのでは?

それはさておき、この部屋でどのような仕事をしているかといいますと、病院の日々の活動をお金(数値)に置き換えて記録することをやっています。日々の業務は小口現金(これは文字通りお店で買い物をしたときに支払うためのお財布に入っているくらいのちょっとしたお金)や銀行の預金の出し入れ、みなさんが患者様に対して行った診療行為の報酬(病院にかかったときに払うお金と毎月1回、国などが病院に対して支払ってくれるお金との合計)はいくらかとか薬や材料をいくら仕入れたかとか費用(みなさんのお給料もこれに当たります)を計算するなど、病院の成績を決める基となる数値を記録しています。

また、目に見えないものに価値をつけるのも経理の重要な仕事で、代表的なものは「減価償却(げんかしょうきゃく)」があります。聞き慣れない言葉と思いますが、みなさんが新車を購入した時、下取りに出した車が自分の思っていた額より安くてがっかりした経験があると思います。買った時から下取りに出すまでに減った価値を毎年“自ら”が決めていくのが減価償却です。「え!価値を自分できめるの?」と思うかもしれませんが経理では買った物は使っていると毎年必ず価値が下がって、何年か後は限りなくゼロに近づくと“正直”に考えます。ゼロに近づけるには誰が決めたか分かりませんが法律による一定の掛け率があって、見た目は新品でも毎年その掛け率を掛けることによって目減りした価値を決定し、これまた記録するわけです。

このように経理では毎日、毎月、毎年記録を行い、最後に病院の成績発表の日を迎えることとなります。

## 【事務部】

事務部は、外来事務・入院事務の2つに別れ外来事務は受付から会計・入院手続き・電話対応・その他いろいろを7名の職員で行い入院事務は3名で一般病棟・障害者等一般病棟・緩和ケア病棟・介護療養病棟を受け持っています。

外来担当者は、待ち時間短縮や患者満足度に気を配りながら日々頑張っています。

事務部の一番の仕事は、診療報酬に基づき医療行為を点数に置き換え患者様の医療費を決定する事です。当院も入院診療費の請求方法が平成21年より今までの出来高請求からDPC(診断群分類)による包括請求に変更となりました。

慣れない業務に戸惑いながらも診療情報管理士と力あわせ日々頑張っています。医療現場で働く者として、後期高齢化社会で医療費等の情報を取得出来ない患者様に少しでも専門的知識を与えていけるよう又病院にとっても請求漏れ等の無いよう日々努力していきたいと思います。



## 介護病棟の壁飾り



部署別紹介

病院システム部の紹介



病院システム部の業務は、施設管理、用度、患者様の送迎などを行っているスタッフが2名。そして、院内情報システムの運用を行っているスタッフが2名、計4名で業務を行っています。さらにその内の1名は臨床工学技師であり、人工呼吸器など医療機器の管理も行っています。



病院システム部では、あまり患者様の目に触れる機会は少ないのですが、院内のイベントでお花見などがある時は、入院患者様を送迎して、バーベキューをしたり、手作りの豚汁を振舞ったりすることもあります。また、毎年恒例の流しソーメンでは、山に入って竹を切ってきて、入院患者様に流しソーメンを楽しんでもらっています。

一方、患者様からは見えにくい部分ですが、情報システムや施設設備、医療機器などに、トラブルが起きれば診療に支障が生じてしまいます。結果患者様にご迷惑をおかけすることにもなってしまいますので、出来るだけトラブルが起きないように対策、素早い復旧が出来るよう日々努力しています。

このように縁の下の力持ち的な業務が多いですが、医師、看護師、その他職種の人たちが円滑に業務遂行できるようにサポートすることが、ひいては患者様が安心して診療を受けられることにつながると考えております。



余談ですが、徳岡先生の誘い合わせのもと、システム部職員その他大勢で丸太小屋作りに挑戦しました。週末になると汗見川に行き、松下主任指導のもと、丸太を切ったり、セメントを運んだり汗を流しました。おかげで、約2年でほぼ完成しました。徳岡先生は、患者様を連れて行かれることもあるそうですよ。 並川

部署別紹介

訪問看護ステーションしもぢ

村上

訪問看護について紹介したいと思います。正面玄関入ってすぐ左にステーションがあります。24時間365日対応します！を売り言葉のように利用者さんに言ってますが、その言葉に安心して在宅療養されている方も沢山いらっしゃいます。介護の方から終末期の方まで自分らしくいられる家で大好きな家族と過ごす時間をお手伝いさせて頂いています。

病棟勤務の頃と違い、車移動(たまにママチャリ)で体を動かす事が少なくなりスタッフ全員運動不足(><)お腹や足の脂肪が蓄積されているような気がする今日この頃です。

日々の会話にダイエットの話題が上がることもしばしば・・・しかし、本当にダイエットしている人はいないように思いますが・・・ご飯やお菓子を食べながら話するのが大好きな人達ばかりですから(\*^-^\*)

楽しい職場ですが、時折古巣の病棟が恋しくなる事も・・・そんな時は病棟の仲良しとの飲み会で元気をもらいます。

でも訪問に異動して沢山の利用者さんと出会い、笑ったり泣いたりして過ごす日々は本当に充実しており看護師としてやっと一人前になってきたかな?なんて思っています。スタッフ全員誇りを持って仕事している姿は見えてとても素敵です。(1番年下の私が言うのも偉そうですが...)

利用者さんの相談にもいつでもどこでも伺います。

訪問看護もしくはスタッフに興味のある方は、いつでも声かけて下さいね!(笑)

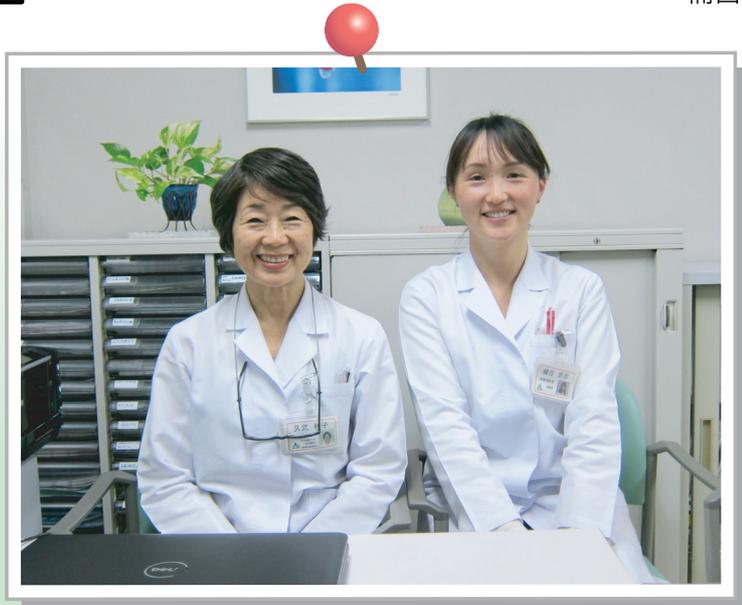


部署別紹介

医療相談室

楠目

相談室では、入院相談や医療費(高額療養費や限度額認定)、緩和ケア外来や緩和ケア病棟の受診・入院の案内、在宅での生活や介護などの相談、施設情報の提供、各制度の案内や申請手続きの説明などで、入院中の患者様のみでなく、外来通院の患者様やご家族からの相談も受けています。



相談員 2 名で病気やけがなどで生じるさまざまな不安や困り事などお話を伺っています。お気軽にご相談ください。



◆壁飾りシリーズ◆

西二階では、季節に応じて壁飾りを作っています。西二階詰所前に展示していますので、是非、見に来て下さい。



# うちのまん。

Uchinoko Jiman

## 大和さんちのニャンコ&モルモット



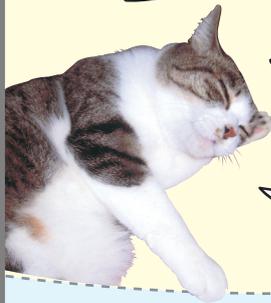
ピカッ

**ライト(オス)**  
目がレモンイエローに近くてライトみたい



ニャー

**雪野(メス)**  
見た目。メイに劣らずビビリ



ズズ

**夏目(メス)**  
夏に飼いだしたから。人見知りが激しくてご主人様以外でなついたのは、お父さんだけ…。

五月(メイ)微妙に当て字…もちろん五月に飼い始めたから。写真にあるクリスマスツリーの絵は、元々はクリスマスケーキの箱。寒くない様に置いたのに入りながら少しずつつかじって、自ら崩壊させてしまった残骸です。冷蔵庫が開くと「キュイキュイ」激しく鳴く。餌をもらおうと「クルクク」と鳩の様にくぐもった鳴き声で大喜び。



ひりひり♪



**五月(メイ)**  
(モルモット:メス)

## 丑本さんちのチャッピー

実家で飼っているネコですが、私が年に2~3回ほどしか帰らないので、ちっともなついていません。夏は普通のネコですが、冬は毛がフサフサになり、近所の人によくタヌキと間違えられるそうです。



タヌキじゃないニャ!

**注意点:**  
油断すると、かみつかれます。

## 中村さんちのはやて



恥ずかしいワン

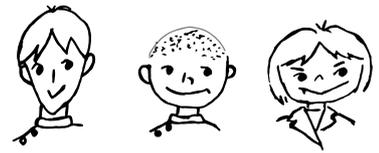
トイレでなくてごめんなさい…



中村さんちに家族が増えました。名前は「はやて」なんと誕生日がご主人様と一緒に♥

# ◆◆ 季節を感じて… ◆◆

## — 作品紹介 —



リハビリテーション部 作業療法室

『作業療法』で作製した患者様の作品紹介も3回目となりました。発行月の前後の季節に合わせており、今回は2月発行ということで冬・春バージョンです。

そして、今回号からなんと・・・『カラー』になりました。＼(^o^)/

せっかくの作品も、白黒では色合いや質感・立体感をうまく伝えることができず残念に思っていました。これからは、より季節感を楽しんで頂ければと思います。

それでも、「本当は実物を見て頂くのが一番!!」と望みは尽きません。展示等、皆様にお見せできる日が来るよう、良い作品が増やせたらと思っています。



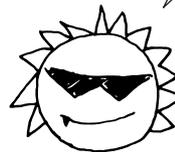
同じくす玉でも色の組み合わせで、雰囲気が変わります。



HA・NA・MI…



アイスの棒かあ…



椿きれい～

エコ ティッシュボックス





◆お月見会◆  
緩和ケア病棟

9月10日、緩和ケア病棟で、お月見行事が行われました。午後2時からスタートで、夜空に浮かぶお月様を見ながら…とは、なりませんでしたが、美味しい

月見団子がお月様の代わりとなりました。また、大きな花瓶に活けられたススキの穂や秋の花がお月見の雰囲気盛り上げていました。今回のお月見行事では、4名のフラダンサー達によるフラダンスの披露が行われました。普段、なかなか目にする機会のないフラダンスによって、ラウンジ全体が、ゆったりとした素敵な雰囲気に包まれました。フラダンスを見た家族の方より笑顔で「いいものを見せてもらうた。良かった。スカートがヒラヒラして綺麗やった。」との感想を聞きました。患者様や家族の方の笑顔も多く見られ、会話も弾んでいたように思われました。その後も月見団子や白玉入りのぜんざいなどを食べながら、カラオケで盛り上がり、時間いっぱいまで、カラオケが流れて



いました。その光景を見ながら、私達も素敵な時間を過ごさせて頂くことが出来ました。

◆コスモス観賞◆



平成23年11月5日緩和ケア病棟では、東部球場前にコスモス観賞に行きました。前日の天気予報では、雨の確率100%。それを聞いたスタッフが「明日は晴れますように。」と、てるてる坊主を作り、窓辺につるしました。雨天決行で車窓より、コスモスを観賞することになってい

ましたが、朝から天気予報通りに雨。出発1時間前にはより激しい雨が降り、車窓からもコスモスを観賞することが出来ないのではないかと思われました。雨の激しさは軽減したものの雨はやむ様子はないうまま患者様4名、家族5名、Dr1名、NS5名で出発。東部球場前に到着した時は小雨。患者様を乗せた車がコスモス畑の周辺を1周した時には雨がやんでいました。そのため、全員が車から降りて、コスモスを観賞したり、横を流れる小川で魚を探したりするなど、笑顔も多く見られ、ゆっくりと過ごすことが出来ました。15分ほど過ぎ、車に乗り込むと雨が降りだしました。「ちょうど良かったね。」と話すと思者様が「着いたら、絶対雨がやむき。」と予言していたとの事。その予言の中にスタッフ全員が驚きました。奇跡的にやんだ雨が印象に残ったコスモ

ス観賞でした。

◆クリスマス会◆介護病棟

平成23年12月21日に東2階談話ホールにてクリスマス会を行いました。職員のアナ演奏にて「きよしこの夜」など全5曲を患者様や患者様のご家族と共に歌ったり、聴いたりして楽しい時間を過ごしました。普段はベッドでの生活の方も車椅子でご家族と過ごされ、とても嬉しそうに涙をポロポロ流されている方もおり、見ているこちらにも感動がこみ上げてきました。演奏終了後は、ホールでおやつを食べたり、会話を楽しんだりして皆さんイキイキと笑顔あふれる1日でした。



◆クリスマスの夜◆緩和ケア病棟

12月22日、緩和ケア病棟ラウンジで患者様とご家族、ご遺族の方々とクリスマス会を行いました。ご遺族の演奏するフルートの音色は、とても優しく色々な思いを呼び起こしてくれました。ベツドで参加された患者様は指でリズム

をとっていました。又、フルート演奏のアーベ・マリアは心に染み渡りました。そしてこの日の為に練習に励んできた病棟看護師によるハンドベルできよしこの夜とシングルベルを演奏、途中で間違えないかドキドキです。



今年も、忘年会の余興で踊った

「KARA」も披露、パワフルな看護師の動きに患者様もびっくりです。その上、高野Dr扮するサンタクロースと看護師扮するトナカイにもびっくり。プレゼントを手渡す時は、素敵な笑顔を見ました。今宵のご馳走は、病棟スタッフ手作りのカレーとお好み焼き、栄養部手作りのちらし寿司でした。日頃食の細い患者様にも食べて頂く事ができ、楽しいひと時を過ごして頂く事ができました。





緩和クリスマス会  
散らし寿司



クリスマス献立



お正月献立  
朝食



お正月献立  
昼食



お正月献立  
夕食



# I have a sweet tooth



栄養部 溝淵

年が明けて寒さも本格的になってきました。今回、休みを利用して身も心もリフレッシュするべくドライブすることになりました。目的は、温泉といつものように美味しいものを食べる事です。

高知市を出て、東に車を走らせること4、50分、目的の近くになるとアンパンマンミュージアムが見えてきます。(子供も大好きでよく通いました！)

到着するとまずはお風呂に直行！なかなかいいお湯でした。私たち以外のお客さんは、年代層が若干高めなようで、その日は子供から年配の方まで来られていて賑やかでした。(その日は日曜でしたから、平日を狙っていけばのんびり出来そうですよ。)

今回のお目当ての場所は、数年前に出来た温泉とカフェ？の併設された場所で、見晴らしもよく、

暖くなれば外でランチやお茶するのもいい所ですが…まだまだ寒い今の時期は景色の見える場所で、いただく事にしました。

普段のランチからすると、少々お値段は高めでしたが美味しい物も頂いて、のんびり出来て身体もぽかぽか温くなり、いいリフレッシュになりましたよ。

帰りには、最近の私のお気に入りの空港近くのケーキ屋さんに寄り道して、美味しいケーキとコーヒーで大満足した後、明日からのダイエットを誓う私の休日でした。

みなさんももう少し暖かになったら、郊外にドライブがてら探して行かれてみませんか。

発行 医療法人久会  
編集 岡南病院  
編集 久直史  
岡南病院新聞部  
高知市知寄町一五二一五  
電話 〇八八八二二三二六

